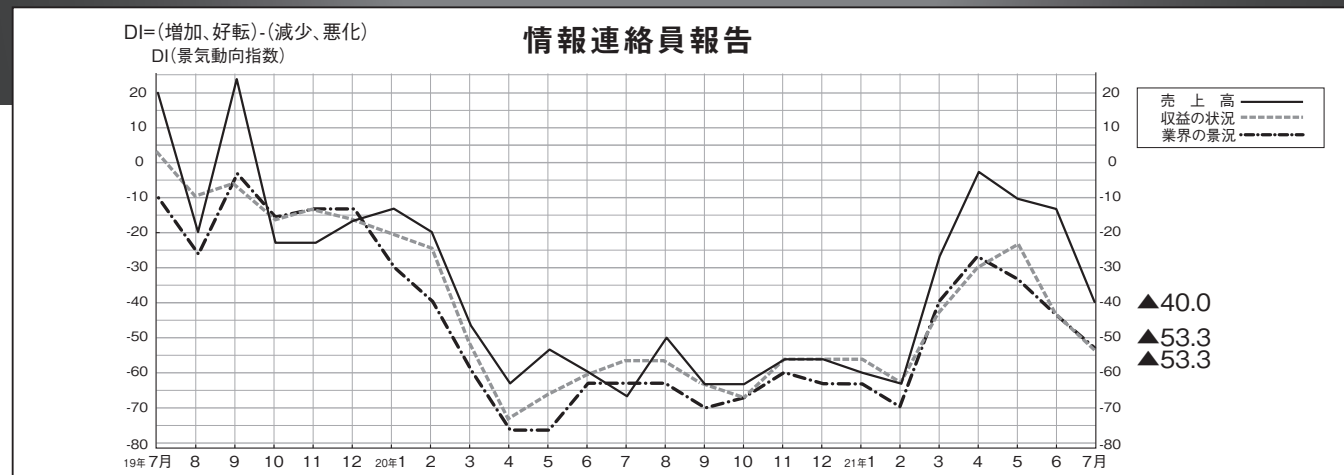


# 情報連絡員報告を中心とした 県内各業界の動向

2021年7月（前年同月比）



業界の状況

☀️ …好転

☁️ …やや好転

☁️ …不変

☁️ …やや悪化

☁️ …悪化

## 食品団地

7月度商況もコロナ禍によって低調であった。食品原料や燃料など値上げによる収益への悪材料が引き続いており、厳しい経営環境となっている。

## 酒類製造

出口が見えない状況。首都圏への出荷減少に加え、県内への観光客減少による消費減。対策なし。

## テントシート

コロナ禍でイベント関連主力の事業所は、大変な状況です。

## 木製品素材生産

スギ・ヒノキ共に量は変わらないが、ウッドショックによる柱適材を中心にスギで1〜2割、ヒノキで3〜4割の価格の上昇が見受けられる。

## 製材

「ウッドショック」といわれる世界的な木材不足の影響が続いており、原木、製品共に価格の上昇傾向は継続している。

## 製紙（家庭紙）

相変わらず、県内家庭紙業界は、厳しい状況が続いている。高騰したパルプを原料に生産しても、採算が合わない現状では、無理して稼働率を上げる必要はない。（雇用調整助成金を活用）

## 印刷

前年対比は昨年同等。県内需要（官公需、民需）共に厳しい。県外も相変わらず。6月度は多少回復傾向が見られたが当月は一昨年対比では大幅減。コロナの再拡大と夏場の非需要期を迎え先行きが見通せない。

## 生コンクリート製造

コロナの影響として、今後、建設関連予算の削減、執行遅延が懸念される。

## コンクリート製品

出荷数量は、前年同月比152%。令和元年5月分の出荷から西日本豪雨による災害復旧工事の発注により増加が続いていた。令和2年7月分以降は、増減を繰り返し、令和3年7月分は増加に転じた。

## 機械団地

一部事業所では予想以上の原材料費高騰が続き、資材確保が厳しくなっているとの声がある。売上高や収益状況の指標は前年比で低下している。

## 刃物製造

前月より売り上げが低下している。受注はそこそこあるものの、納品が間に合っていない面もある。

## 船舶製造

生産状況は引き続き高い水準で推移している。

## 珊瑚装飾品製造

7月の取引額は前年同月比82%、コロナ禍前の前々年と比べると58%となり、回復の兆しが見えない。

## 卸団地

1.7月の連休は、宿泊は良かったようだが、外食業は全く期待はずれだった。今月はお盆があるが、全く期待できない。2.コロナ禍の影響が大きいと、業界での景気悪化が続いている。

## 青果卸売

入荷量が増え販売価格が低下のため、7月は前年対比が約90%になってしまった。店舗売上は100%である。

## 生鮮魚介卸売

引き続きコロナの影響で売上も減少している。カツオは大きい太さのものが安値で多く入荷している。マグロは先月同様需要が少ないので不足していない。

## 各種小売（土佐市）

相変わらず厳しい状況が続いている。イベントも中止になり、小売店にも元気がない。

## ガソリンスタンド

月末の世界的感染拡大により原油価格は不安定、今までの値上げの転嫁の遅れから販売価格は全国的に高騰。全国的な感染拡大だが、高知を題材にしたアニメ映画のモデル場所にはかなりの観光客が来た模様。

## 電気機械器具小売

7月は前年比全商品平均で98%。昨年度は各種補助金があり又巣ごもり需要もあり好調だった。今年は2019年並み。

## 中古自動車小売

新車不足での中古車相場上昇が続く中、高年式車の販売が好調だが収益率は低い。販売台数、客単価ともに上向きではあるが、収益増までには至っていない。

## 商店街（安芸市）

昨年に続き、コロナの影響で夏のイベント中止が相次いでいる。商店街に活気を取り戻すために何ができるか模索中である。

## 商店街（高知市）

中央公園地下駐車場利用状況 売上：前年比97.5%、台数：前年比97.9%。高知県の感染症対策の目安が「警戒」に下がった7月最終土曜日にやっと一回だけ土曜夜市を開催。予想以上の来街者で賑わいを見せた。

## 商店街（四万十市）

県内の感染者が二桁になると町全体に重い雰囲気が出てきた。夏休みが始まり、県外客が増え、夜の街には歌声が響くようになった。レンタル自転車も日中よく見かける。飲食店も健闘しているようだ。

## 旅館・ホテル

連休、オリンピック、変異ウイルスの拡大を受け、連日感染者数最多を更新し続けており、それに伴い、繁忙期に宿泊キャンセル等相次いで予想以上のコロナ禍長期化で厳しい状況は続く。

## 飲食店

食糧品全体に値上がり傾向、仕入価格が上昇。今月は前年度（既にコロナ禍）と比べて少し好転したが、例年の売り上げには程遠い。長引く売り上げ減により更に収益は悪化している。

## 旅行業

組合クーポン前年同月対比66%、全旅クーポンを加味して58%、2年前同月対比9%。旅行業界は一筋の光も見いだせない、危機的状況が続いている。

## 一般土木建築工事

令和3年7月分の公共用生コン出荷量は、前月比98.2%、前年同月比129.8%。公共工事請負金額は前年同月比で110.2%。災害復旧工事、防災・減災対策工事、高速道路の延伸工事などの大型工事は継続。

## 電気工事

組合員の施工する電力引き込み線工事は、前年同月比95.5%とほぼ同様となった。

## 一般貨物自動車運送

売上は前年度比で横ばいしない若干の増となったが、燃料価格が高騰しており組合員企業の収益は悪化している。今後のコロナによる経済の停滞の影響が懸念される。

## タクシー

実働1日1車当りの前年同月比営業収入：76.1%、輸送回数：80.0%。実働率は47.2%。陽性患者が減らないことで夜の利用者が減少して、やれないという声が大である。

忘れずおまかせ保険。

MS&AD 三井住友海上

三井住友海上の安心

GK

クルマの保険

住まいの保険

人の保険

www.ms-ins.com